



## 中 厚岸翔洋高校生の出前授業 学生へメッセージ

厚岸翔洋高校海洋資源科3年生7人が開発した「生カキを剥かずに簡単に食べられる『かぶシェル』」にちなんだ出前授業が、町内の各中学校で行われました。

2月9日の真龍中学校の授業では、海洋資源科の塚田さんと貫和さんと福原さんが、『かぶシェル』の商品販売に至るまでの経過を発表。開発の苦労や喜びのほかに、友だちに助けられたことや意見がぶつかりあったことなども交えて話し、最後には3人から中学生に向けてメッセージを送りました。

## 冬 サウンドコア・ライブ22 の夜に熱い演奏を披露

2月18日、厚岸味覚ターミナル・コンキリエでアマチュアバンドの祭典『サウンドコア・ライブ22』が行われ、厚岸翔洋高校軽音楽部を含めた町内外のバンド9組が出演しました。

このライブは町内の音楽愛好家でつくる音楽集団サウンドコア実行委員会が主催し、今年で22回目を迎えています。

出演したメンバーの年齢も15歳から65歳と幅広く、ロックやポップス、ヘビーメタルなど多彩なジャンルの演奏が繰り広げられ、訪れた多くの観客を盛り上げました。



## 毛 厚岸味覚まつりinサッポロファクトリー ガニもおいしい厚岸をPR

2月18日と19日の2日間、厚岸漁業協同組合主催の『厚岸味覚まつり』がサッポロファクトリーで開催されました。

厚岸より直送した毛ガニ2ト、カキ2万個などの海産物を販売したほか、厚岸産しいたけやレタスも販売。カキとサンマを使用した厚岸海鮮バーガーも販売され、会場は長蛇の列が途切れることなく、たくさんの人で埋め尽くされました。

豪華景品が当たる大ビンゴ大会も行われ、番号が読み上げられるたびに、歓喜と落胆の声で大いに盛り上がりしました。



## ふ 第47回東京厚岸会 るさと厚岸で花咲くように

2月19日、首都圏近郊に住む本町出身者など、厚岸にゆかりのある人が集う『第47回東京厚岸会』（宗石亨会長）が、東京都千代田区内のホテルで開催され、『花と味覚と歴史のまち』をテーマに、参加した約90人が語り合いました。

懇親会では全員で『ふるさと』を合唱。「ふるさとを思うところ」がふるさと厚岸で花咲くようにと、町の木でもあるエゾヤマザクラの苗木購入のため、今年から募金も行われました。購入した苗木は、今年の植樹祭で植樹する予定です。



## 旬 第18回カキDEござ〜る のカキを堪能

2月19日、『第18回カキDEござ〜る』（同実行委員会主催）が厚岸味覚ターミナル・コンキリエで開催され、多くの家族連れなどでにぎわいました。

40分間カキ食べ放題では、15人限定で2回行われ、参加者の中には60個以上食べる人も。目の前で焼かれていくカキを参加者は黙々と平らげていました。

大人の皆さんはカキのつかみ取りなどのカキを中心としたイベントで楽しみ、子どもたちは大人気の巨大スノースライダーや雪中宝探しなどのイベントを楽しみました。訪れた人は、厚岸の冬の味覚と冬の遊びを満喫していました。

## 避 厚岸町避難所運営訓練「Doはぐ」研修会 難所運営を模擬体験

1月28日、湖南地区は松葉地区集会所で、湖北地区は厚岸情報館で『厚岸町避難所運営訓練「Doはぐ」研修会』が行われ、災害発生時の避難所運営を考えました。

避難者の情報が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図に配置し、避難所で起こるさまざまな出来事に対して、どのように対応していくのかをみんなで話し合いました。

最後は訓練を振り返り、避難所運営の改善点や自分に今できることなどをお互いに確認し合いました。



## 迅 災害時における地図製品等の供給等に関する協定書調印式 速な災害対応を可能とするために

1月31日、『災害時における地図製品等の供給等に関する協定書調印式』が役場で行われ、株式会社ゼンリンと町は、災害時における地図提供等の協定を結びました。

この協定は、災害時において災害対応を迅速に行うために、厚岸町の住宅地図と広域図が株式会社ゼンリンより無償で提供されます。住宅地図と広域図のほか、インターネットで最新の地図を見ることができるサイトの使用についても提供がありました。